

日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史



NDA公式
You Tube

発行所 一般社団法人 日本洋装協会

一般社団法人 日本洋装協会

事務局 〒113-0034

東京都文京区湯島4-8-3-307

TEL (03)3814-7023

FAX (03)3814-7023

発行人 伊賀 玲子

編集人 三鈴 イツ子

年3回発行 リビ 裕子

高橋 里子

2022 全日本洋装技能コンクールを終えて

理事長 伊賀 玲子
コンクール運営委員長

去る十月九日中野サンプラザでの審査会を終え、十一月十一日、銀座マリオン十一階、有楽町朝日ホールに於いて、全日本洋装技能コンクール入賞作品発表会が華やかに開催されました。

当日は国会開催というお忙しい中、主催者代表逢沢会長のご挨拶を頂き、当協会、山東昭子名誉会長のご祝辞、短かい時間のご出席ではありましたが華やかな開会となりました。

多勢の観客をお迎えし、多彩な光と音が醸し出す幻想的なステージの幕開けでございます。

今年も全国各地より沢山の作品が寄せられました。高校生の出品や初めて出品される方も多くみられ、今後も若い世代の方々へのアピールが大切だと考えております。

今年には特に、きめ細かい技を入れた作品、又、カットイングがよく、切り替え線をうまく使った作品が多く見られました。とても見応えのある発表会となりました。

今年で二年目を迎えるYouTube配信は、とても好評を得ており、素晴らしい技術や発想力をより多くの方々に届いていることを確信しております。



表彰式

最後になりましたが、この全日本洋装技能コンクールは、来年度より二年に一度の開催となりました。来年は一度休みということ、又二年後、情熱あふれる作品をお待ちしております。これからもより良き道を模索し、進んで参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

コンクール運営実行に携わってくださった全ての皆様により感謝を申し上げます。



フィナーレ

第6回NDAクチュールコレクションのお知らせ

延期になっていましたクチュールコレクションを令和5年4月15日(土)中野サンプラザ・コスモルームにて開催いたします。

訃報

名誉会員 稲垣昭子様(神奈川県横浜市)が令和4年1月に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

NDANews

<http://nihonyosour.jp/>

黄綬褒章受章(秋) 佐藤千鶴子(青森県)
現代の名工受章(秋) 佐藤 順子(東京都)
全技連マイスター認定

石川県技能顕功賞受章 日黒 峰子(北海道)

(国家検定) 婦人子供注文服製作
一級合格者 酒井 啓子(石川県)
高橋 里子・石原 洋子
白谷かほる・松崎 千枝
牧野由佳里・森 明美
雨宮真由美・瓜生亜希子
黒崎 有香・国政 公美
阿部かおり

二級合格者

鶴澤 恵・田子 直子
唐澤 純子・赤波江久美
大原かおり・堀江 美佳
坂野 美紀・田中 陽子
吉田 啓子・石川 真衣
杉本 孝美・田所由美子
杉原さとみ

令和4年6月21日(火)〜(10回予定)
プロトパターン作成開始

令和4年8月5日(金)〜7日(日)
ものづくり・匠の技の祭典 2022

東京国際フォーラム・ホールE
令和4年8月21日(日)
ファクトリー展示会

中田、佐藤 参加

令和4年9月21日(水)
技能士会・マイスター会の異業種交流会

浅草、江戸切子工場見学
小幡、富澤 参加

令和4年10月23日(日)
(公社)全日本洋装技能協会

創立50周年記念式典
中田、伊賀 出席

令和4年11月5日(土)〜7日(月)
第60回技能五輪全国大会 2022

幕張メッセ

令和4年12月18日(日)
スキルアップ講習会

松戸勤労会館(千田)

令和5年4月15日(土)
第6回NDAクチュールコレクション
中野サンプラザ・コスモルーム

入賞作品 A部門 (フォーマル) B部門 (カジュアル)

内閣総理大臣賞A (学)文化服装学院院長賞

小平政子 (栃木県) カラードレス



スラッシュキルトの工法で三枚の布を重ね、1cmのバイアスで縫い合わせました。その生地を中心に切り込みを入れ、一枚の生地に仕上げ製作しました。スカート部分は全円形でイレギュラーヘムに仕上げました。

衆議院議長賞A (株)ブティック社社長賞

金武節子 (佐賀県) ボレロ付きロングドレス



シルクシャントンの布を使い、ボレロ付きのドレスを制作しました。ポイントには布を大きくくり抜き、透かしを入れた日本古来の文様を配置しました。衿、肩、ウエスト部分にスモッキングビーズをあしらいました。

参議院議長賞A

可児ロレタ・オビロス (神奈川県) ロングドレス



衿と帽子のクラウンはマクラメ編みで、帽子ツバ、袖とボディは手作りバイアステープとビーズで170種類のステッチの種類の1つ、クレタンをアレンジしたファゴティンクで仕上げです。SDGs12番のゴールを意識し、70年前の布を再利用しました。

厚生労働大臣賞A

西 玲子 (茨城県) カクテルドレス



思わず踊りたくなるようなカクテルドレス。スカートは正方形の布を2枚、720度の優雅なフレア。落ち感のある軽やかな生地を生かしてビーズを施しました。

厚生労働省人材開発統括官賞A

リビ裕子 (東京都) イブニングドレス



厚生労働省人材開発統括官賞B 新人賞

満田恵美 (茨城県) トレンチコート&スカート



経済産業省製造産業局長賞A

四元利耶子 (福岡県) ロングドレス



経済産業省製造産業局長賞B

志賀明子 (東京都) ワンピース



厚生労働大臣賞B



須藤陽子 (東京都) コート

経済産業大臣賞A



大和田よね子 (茨城県) イブニングドレス

経済産業大臣賞B (学)文化出版局賞



滝川通子 (茨城県) ジレ&ワンピース

中小企業庁長官賞A



岡本敏枝 (岡山県) ロングドレス

中小企業庁長官賞B



藤澤勇慈 (東京都) アンサンブル

ざっくりとしたツイードの布が元気のであるデザインに変身。織り糸の一角をアクセントに布でアップリケを施し共布のワリンジをはさみ、毛糸でコーティングステッチをしました。

前中心から裾にかけて、ペイズリーにビーズ刺繍を施しポリエステルサテンでルーシングを作り、ビーズを刺し、ルーシングで飾りました。

すっきりとしたジレにワンピースで装飾を施しました。シンプルと華やかさを表現し、スリットから覗くプリーツスカートで女性らしさを演出しました。

倉敷の白壁をイメージしています。倉敷デニムと帯を6本使い、10センチにカットした帯布と矢羽根に切ったデニムの布をつなぎ合わせて、ミシンキルトで大きな布ができました。タックを載せて、ドレスに仕上げました。

白黒のチェックと黒の対比のコートとワンピースのアンサンブル。虹色のファスナーで人権と平和の願いを込め、革に蝶を型押しし、バッグを制作しました。

東京都知事賞A



菊池教子 (茨城県) フォーマルドレス

東京都知事賞B



吉岡和子 (茨城県) ワンピース

東京都議会議長賞A



柳田寿子 (東京都) ウエディングドレス

東京都議会議長賞B



石井幸子 (福岡県) ケープ&ワンピース

東京都産業労働局長賞A



目黒峰子 (北海道) イブニングドレス

2022 入賞者 (A部門フォーマル) (B部門カジュアル)

Table listing award winners for 2022, categorized by award type (e.g., 東京都産業労働局長賞, 日本商工会議所会頭賞) and gender (A/B).

カッティング賞 (順不同)

Table listing winners for the Cutting Award, including names like 石田きよみ, 高野 秋子, 鹿島 和枝.

クチュール賞 (順不同)

Table listing winners for the Couture Award, including names like 富澤三喜子, 平田 靖子, 大野 麻里.

デザイン賞 (順不同)

Table listing winners for the Design Award, including names like 山田 千春, 堤 志保美, 鶴澤 恵.

技能コンクール 初めての技能コンクール審査

前日まで審査を担当していた学院長に代わり、今回初めて技能コンクールの審査を担当させていただきました。

私はこれまで傍観者として、世のファッションコンテストの在り方に少なからず疑問を抱いていました。どのような疑問かと申しますと、服の持つテーマ性、ストーリー性、そこに込められたメッセージをたった一着の服で表現できるのか？また、その一着の服からどれだけ作者の意図を汲み取って評価をすることができるといふこと？という事です。

しかし審査の当事者になると、そんな疑問は感動に変わってしまいました。もちろんコンクールという伝統的な形式があり、その運営方法が現在まで踏襲されているのだと思えますが、一着の服に魂を込めて作る素晴らしさを改めて知らしめられた思いでした。

作品はフォーマル部門とカジュアル部門に分かれ、まずここでオケ

ジョン(機会)による作者のストーリーが作品に込められます。モデルのウオーキングとともに作者のコメントが読み上げられると、一瞬その作品の後ろに様々な背景が浮かび上がります。それは一枚の絵画を見て感動を覚える感覚に似ています。



審査風景

職人の小技¹⁸
縫い割り風の袖付け

千田 芳江

○肩周りを前肩にするため、後肩に5mmのいせ込みを袖付け寄りに入れると、肩線が前方に5mmほど振れる。結果、前肩にゆとりが生まれ、後ろ側がフィットする。

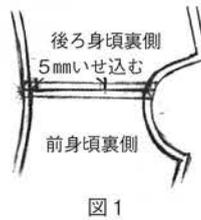


図1

○図のようにバイヤスの毛芯を添えて袖側から縫い、毛芯を身頃側に倒す。

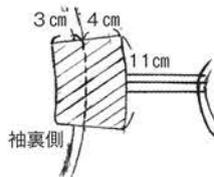


図2

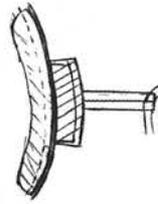


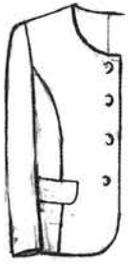
図3

○共布などのバイヤスで山布を作り、袖の縫い代にかけて身頃側から再度ミシンをかける。体型によっては肩パットの綿を加減するので粗いハ刺しで纏める。



図4

○仕上げは掌で肩袖を覆い、手の温もりで愛情を込めて撫で降ろしを2、3回繰り返すとアイロンではできない優しい肩周りに仕上がる。



出来上がり

初夏のセミナー

金武節子先生による受賞作品の解説と技術講習会

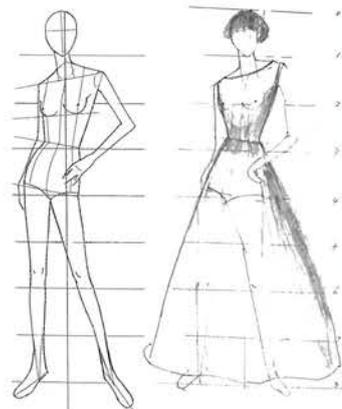
教育部 黒澤 旬子

七月十八日、洋服会館ジェントリホールにて金武節子先生のセミナーが開催されました。

金武先生は「第三十一回技能グランプリ大会」で金賞、「全日本洋装技能コンクール」では、常に上位受賞されています。

セミナーの一部では、「技能グランプリ大会金賞」、「二〇一九年全日本洋装技能コンクール参议院議長賞受賞」作品等を展示し、解説して頂きました。その後、参加者による質疑応答がありました。参议院議長賞を受賞された作品は、佐賀錦を使い、扇をイメージされた美しいドレスでした。苦心された所やアピールポイント等、作品を間近に拝見しながらお話を伺えたのは、とても良かったです。

休憩をはさみ、二部はきれいなハイネックについて、製図の展開の実技指導です。用意してくださった資料を手元に頂き、先生の秘訣を垣間見た様です。さらに、スタイル画の基礎講義と実習です。スタイル画とは、切り替え等がパターンナーに判るよう人物が着てポーズをとる絵のことです。こちらも、先生から頂いた資料を基に、人物のパーツを八頭身に割り、スタイル画を描きました。身体の動きに合わせたプロポーションを描くのは難しいです。受講者がそれぞれ描いている間に、



斜め向きプロポーション・応用1



金武先生を囲んで

先生の描かれた素敵なスタイル画の回覧があり、暫く手を止めて見入ってしまいました。最後に先生からペンと擦筆のプレゼントがあり、擦筆で描いた線を擦り陰影をつけるというテクニクも教えていただきました。

資料には、スモッキング等の手法解説もありましたが、時間が足りずお話しは控えませんでした。それでも、とても盛り沢山な内容のセミナーでした。

「東日本大震災復興祈念」

アートタイル壁画展 KIZUNA

佐藤 順子 (東京都)

2011年3月の東日本大震災から10年余り。奇跡の一本松がある岩手県陸前高田市に、シンガポール共和国の支援によってコミュニティホールが建造された。令和4年5月20日(金)にそのコミュニティホールに於いて、国際総合芸術交流協会が主催する「アートタイル壁画展 KIZUNA」の除幕式式典がとり行われた。

日本全国で活躍されている芸術家をはじめ、シンガポールや陸前高田市の学生の作品、絵画や陶芸、写真などを15cm四方のタイルに焼き付けられた232点がアートタイル壁画として展示された。壁面に並ぶタイル232点は高さ2m、幅6mのアート作品に仕上げられている。

当協会千田芳江先生の作品(ドレス・富士山)の写真が全国の芸術家の232点の中の1枚として展示され、除幕式に合わせ出展アーティスト約40名が参加するなか、展示証明書授与式が行われた。



このタイル壁画は5年間展示されることとなっている。記念すべき式典に参加させていただき、多くの人たちの復興の願いと、地元の人達の元気に私力をもたって帰って来た。

REPORT No.66

ものづくり・匠の技の祭典 2022

広報部 リビ 裕子(東京都)

令和4年8月5日〜7日の3日間の日程で東京国際フォーラムにて開催されました。来場者は、コロナ禍と言えども延べ25,000人を超え、各自秩序を保ちながらも賑やかな祭典となりました。主催者の小池百合子東京都知事がご挨拶をされ、サポーターに、タレント：女優の山之内すずさんや盛り上げ隊の吉本の人気芸人さん達で、楽しいオーピングでした。

祭典には、全国から様々な職種の技能士が結集し、【衣】和裁・洋裁・ジュエリー【食】日本料理【住】表具・内装・建具・木工・造園【工】電動超小型モビリティの紹介・その他機械製造・技術支援等で、これ以外でもそれぞれ沢山の職種の技能士が匠の技を披露しました。更に各ブースの体験コーナーでは、伝統工芸エリアで染物や刺繍、全国エリアではこけしや備前焼、職業訓練エリアでは技能者育成体験などが出来、その他に、障害者用スポーツ用具なども紹介していました。

間に分けて、会場の方達が、更に細かな解説を加えながら実演をし、会場からの質問にも答えていました。日本洋装



オートクチュールコレクション タクミジャパン2022

協会もこのメインステージで、オートクチュールコレクションタクミジャパン2022のファッションショーを華やかに披露し、老若男女いた満員の観客から、盛大な拍手を頂きました。加えて、日替わり展示は、1日2点を3日間行い、コンクール受賞者の富澤・高野・吉岡・佐藤・内野・白井先生方の作品が展示され、デザインはもとより、高度な仕立ては見ている人達を釘づけにし、度々感嘆の声が聞こえて来

ました。更にブースでは、協会の先生方が丁寧に仕上げた小物類・アクセサリー・洋服等を販売し、大変売り上げに貢献したと同時に、手作り体験コーナーでは、子供達が一生懸命バービー人形のワンピース作りをして、とても可愛かったです。この人形の為に準備した生地は100点分全て完売し、アームカパーの20点も人気があつて大盛況でした。この祭典は、各ブースで実体験をする事で他の職種の方々との交流も出来、見たこともなかった技術などを目の当たりにして感動がいっぱい



手作り体験する親子づれ

の3日間です。若者達にとつても、この祭典で自分のやりた



お昼には宮城秋保温泉の名物『さいちのおはぎ』を皆で頂いたり、とても楽しく有意義に過ごす事が出来ました。

必ず今後の制作活動に生かしてまいります。お昼には宮城秋保温泉の名物『さいちのおはぎ』を皆で頂いたり、とても楽しく有意義に過ごす事が出来ました。



最後は浅草寺に参拝してまいりました。

地区だより

日本平 職人塾 講習会

東北地区 阿部かおり(宮城県)



令和四年八月十八・十九日の二日間、日本平職人塾で講習会が行われました。当協会副理事長、佐藤順子先生より『ジャケットの衿付け・袖付けの極意』と題し、アパレルとオーダーの仕立てを融合させた、独自のスゴ技を教えてくださいました。目からウロコ！簡単そうにサラッとやって魅せる先生。自分が実際にやってみると四苦八苦。くやしー！私もいつかあんな風にやりたい！と胸を躍らせました。

大日向敬子先生には、内閣総理大臣賞受賞ドレスを目の前で解説をして頂き、ラティスマスモッキング技法を伝授。皆で頭の体操と指先の体操をしました。田中幸子先生には、小さな生地とピンセットで、剣つまみ・丸つまみの基礎を教えて頂きました。鮮やかで気品溢れるつまみ細工の作品を鑑賞して皆でうっとりしました。

盛り沢山で、三人の先生にご足労頂き勉強出来ました事に感謝いたします。必ず今後の制作活動に生かしてまいります。



動力で回した固い鉦石にグラスを当てて削っていくのですが、中々思う所に歯が当たらず、うまく刻む事が出来ませんでした。どうにか模様が出来た時はうれしかったです。

その後、老舗の食事処「遠州屋」での懇親会は技能士会35名の皆様方との打ち解けた対話が出来て、より一層の一体感が深まりました。参加して、これからの仕事の励みに大いに役立つ事を実感いたしました。異業種の方々とお話ししてみるといろいろなる事に精通して話の魅力が魅力的でした。

最初は切子シヨップ(創吉)の工房で切子グラスの実演体験でした。



異業種交流会に参加して 富澤三喜子(東京都)

技能士会・マイスター会の異業種交流会に参加して

富澤三喜子(東京都)

昭和35年の伊勢湾台風15号並みの台風14号が日本列島を直撃。通過するまで大変な日々でしたが、9月21日は台風一過で良い天気にも恵まれ、交流会が実地されました。当協会からは小幡・富澤が参加いたしました。

最初は切子シヨップ(創吉)の工房で切子グラスの実演体験でした。

その後、老舗の食事処「遠州屋」での懇親会は技能士会35名の皆様方との打ち解けた対話が出来て、より一層の一体感が深まりました。参加して、これからの仕事の励みに大いに役立つ事を実感いたしました。異業種の方々とお話ししてみるといろいろなる事に精通して話の魅力が魅力的でした。

最後は浅草寺に参拝してまいりました。